



ホッカイドウ競馬のご紹介



北海道庁が競馬事業を始めたのは昭和23年。戦後の復興期のもと、娯楽が少ない中での競馬開催に、多くの道民が詰めかけたとされています。

開始から290億円を一般会計に繰り出してきた競馬事業ですが、景気低迷やレジャーの多様化などにより、平成4年以降は赤字決算が続いてきました。

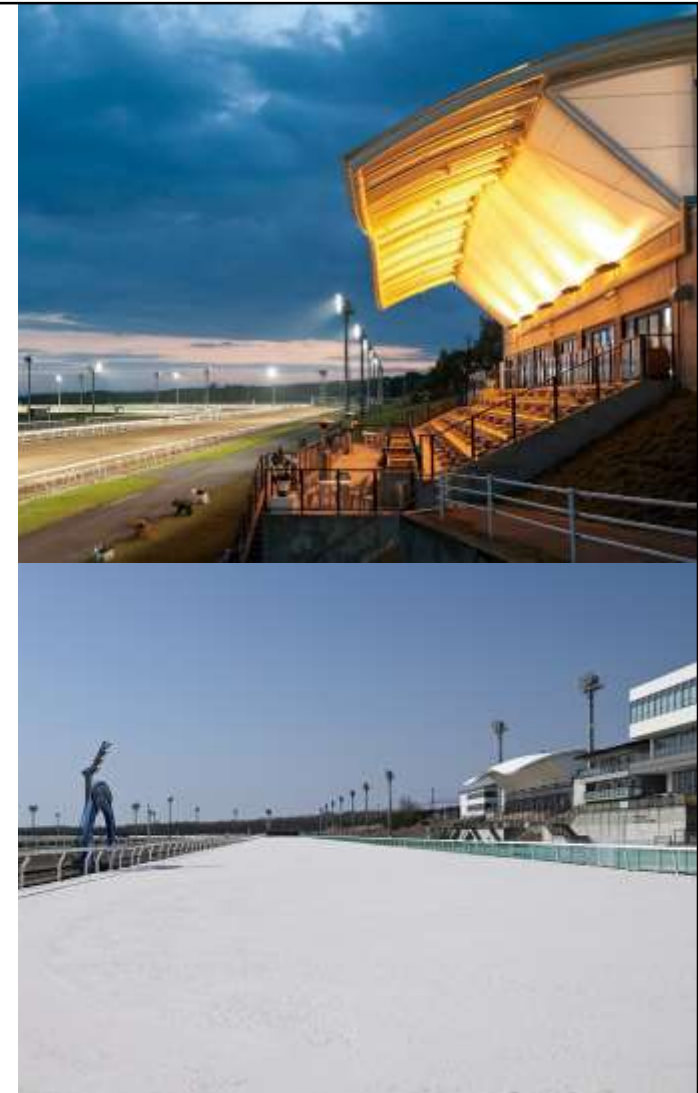
道ではこうした、赤字体質からの脱却を図るため、平成20年に「北海道競馬改革ビジョン」を定め、産地主導による組織再編や門別競馬場への集約、ナイター化などに取り組みました。

平成23年には将来の経営安定化をめざす「北海道競馬推進プラン」を策定、インターネット発売の拡大やJRAとの相互発売などの改革に取り組んだ結果、平成25年度以降は単年度収支が黒字化し、経営が改善してきました。

また、令和3年3月に策定した第3期「北海道競馬推進プラン」では、競馬事業を将来に向けて安定的に運営できる環境を整えるため、老朽化したきゆう舎などの施設を整備することで、働きやすく安全・効率的に競馬が実施でき、より多くのファンがこれまで以上に楽しめる競馬場づくりを進めることとしています。

本稿では、より多くのファンの皆様に競馬場や場外発売所Aibaをご訪問いただき、競馬を楽しんでいただけるよう、馬産地とともに歩んできたホッカイドウ競馬の沿革を振り返りながら、その現状や施設などをご紹介します。

令和5年6月
北海道農政部競馬事業室



1 沿革

かつてのホッカイドウ競馬は道内各地の競馬場を移動して実施するスタイルでしたが、平成22年からは**門別競馬場**の1か所での開催となっています。一方、平成13年度以降は**場外発売所「Aiba」**の拡大を図り、現在、全道各地に**15か所**設置しています。

和暦年度(西暦)	主な沿革
S23 (1984)	競馬法改正により道営競馬開始
S48 (1973)	北海道競馬事務所設置
S51 (1976)	社団法人北海道軽種馬振興公社発足
S57 (1982)	門別トレーニングセンター開所
S60 (1985)	電話投票開始
S62 (1987)	「道営競馬」から「ホッカイドウ競馬」に改称
H3 (1991)	発売額・入場者とも過去最高
H4 (1992)	赤字化に突入
H10 (1998)	地方競馬共同在宅投票システム導入
H13 (2001)	単年度赤字最大、ネット発売開始、ミニ場外新設
H18 (2006)	S P A T 4 で発売
H19 (2007)	北海道競馬改革ビジョン策定、楽天競馬で発売
H21 (2009)	門別ナイター化、北海道軽種馬振興公社へ事業委託
H22 (2010)	北海道競馬推進プランの策定、門別1場化
H23 (2011)	地方競馬トータルゼータシステムへの参画
H24 (2012)	屋内調教用坂路竣工、J R A 馬券の発売開始
H25 (2013)	22年振りの単年度収支黒字化
H26 (2014)	トリプル馬単導入
H27 (2015)	内回り走路竣工、第2期北海道競馬推進プランの策定
R1 (2019)	新型コロナウイルスのため場外発売所休止(R2.2.27～)
R2 (2020)	第3期プランの策定、JBC2歳優駿初開催
R4 (2022)	発売額の過去最高を3年連続更新

年度	開催場							備考
	岩見沢	旭川	帯広	札幌	函館	北見	門別	
S33～	○	○	○	○	○	○		6場開催
S41～	○	○	○	○	○			年により、3～5場開催
H4～	○	○	○	○				
H7～	○	○	○					
H9～	○	○	○	○			○	門別開設
H10～		○		○			○	
H21～				○			○	
H22～							○	門別1場

年度	再編状況	場外発売所数
H12以前	ハング岩見沢(S63～) 旭川レーシングセンター(S62～)	2
H13	Aiba(以下同様)静内	3
H14	苫小牧	4
H15	小樽、滝川、浦河	7
H16	中標津、留萌、札幌駅前	10
H17	千歳、函館、江別	13
H20	石狩、▲留萌	13

年度	再編状況	場外発売所数
H21	札幌中央、登別室蘭、琴似	16
H22	釧路	17
H23	▲琴似	16
H27	▲札幌駅前	15
H30	札幌駅前(キャッシュレス機初導入)	16
R4	▲ハング岩見沢	15

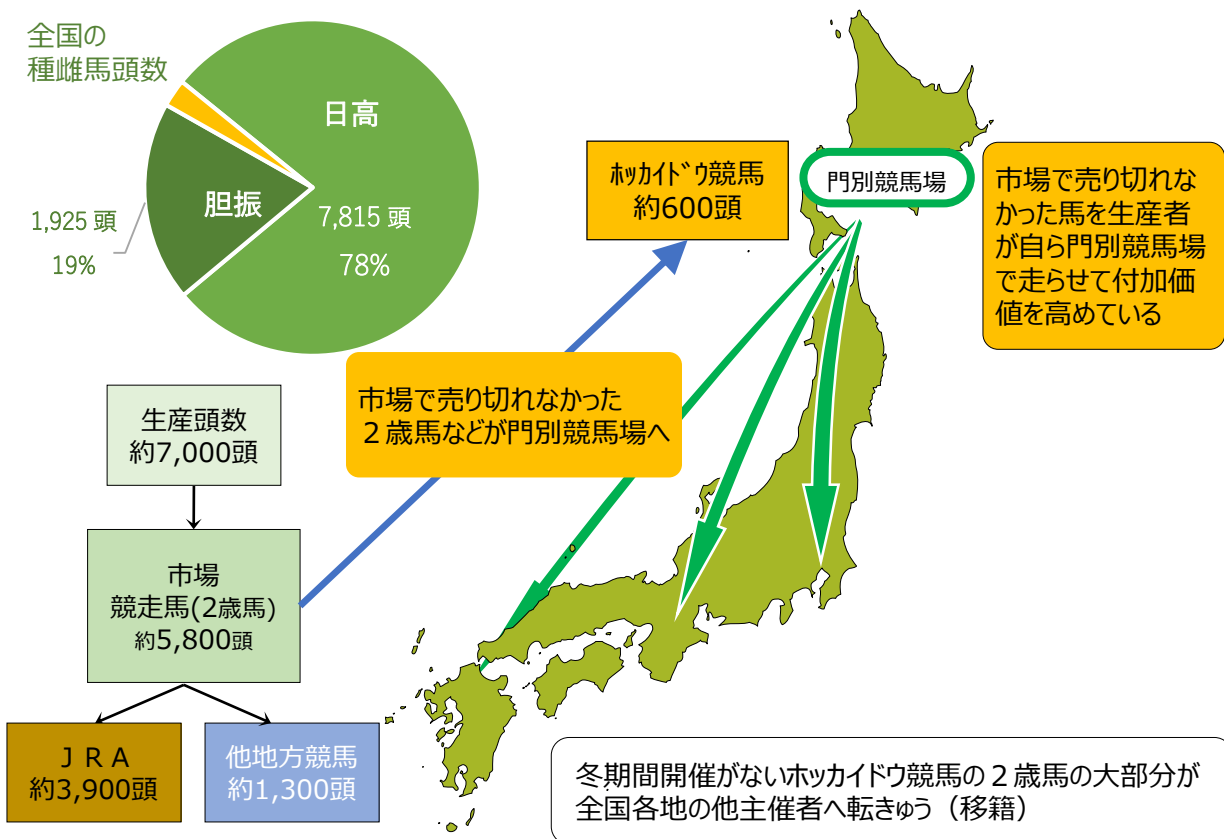
2 ホッカイドウ競馬の姿

馬産地に立脚したホッカイドウ競馬の役割

- 北海道は全国の競走馬の**98%**を生産し、そのうち日高・胆振が**97%**を占めています。
- 馬産地に立脚したホッカイドウ競馬は、「**全国への競走馬の供給**」や「**軽種馬産地のセーフティネット**」の役割を担っていることに加えて、屋内調教用坂路の効果により強い馬を輩出し続けており、地方競馬を下支えする役割が期待されています。

日高・胆振は全国へ競走馬を供給

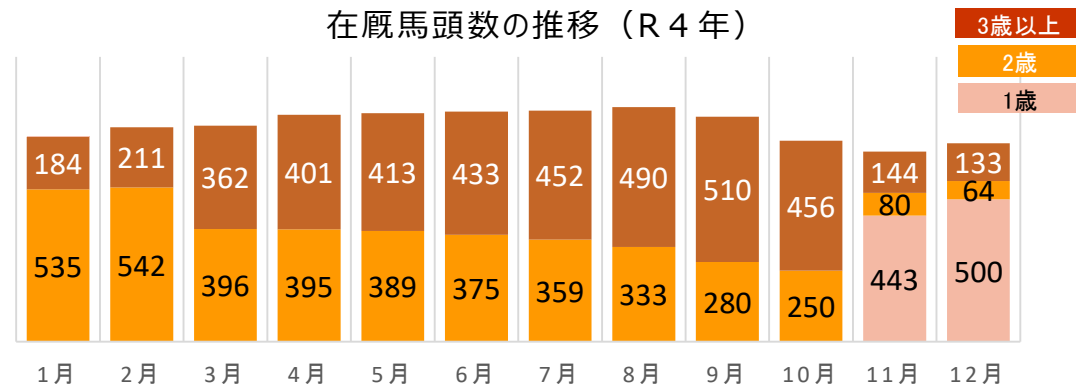
ホッカイドウ競馬は馬産地のセーフティネット



ホッカイドウ競馬の在厩馬

- ホッカイドウ競馬には、約750～800頭の軽種馬が在きゅうし、2歳馬の割合が高いという特色があります。
- 全国で生産される軽種馬の約1割に近い頭数の1歳馬が11月以降に入きゅうし、調教された後、翌年の2歳馬戦に出走します。デビューした多くの2歳馬が、**JRAや他の地方競馬に転きゅう**していきます。

在厩馬頭数の推移 (R4年)



従事する関係者

- ホッカイドウ競馬では、調教師をはじめ、騎手、厩務員などの数多くのきゅう舎関係者が働いています。
- 競馬事業の実施により、投票窓口の従事員や警備、清掃などの委託業務として**数多くの雇用を生み出しています**。

区分	きゅう舎関係者※1			馬主※2
	調教師	騎手	厩務員	
全国	423人	278人	2,178人	5,199人
うち道営	29人	19人	180人	332人

※1: 地方競馬全国協会「地方競馬に関する資料」
(調教師及び騎手～令和4年4月1日現在、厩務員～令和4年3月1日現在)

※2: 北海道馬主会調べ(令和4年4月現在)

3 競馬開催成績

開催日数は**80**日前後、競走回数は**950**回前後、出走延べ頭数は**8～9千頭**となっています。
令和5年度は、**4月19日**から**11月9日**までの**82**日間を予定しています。

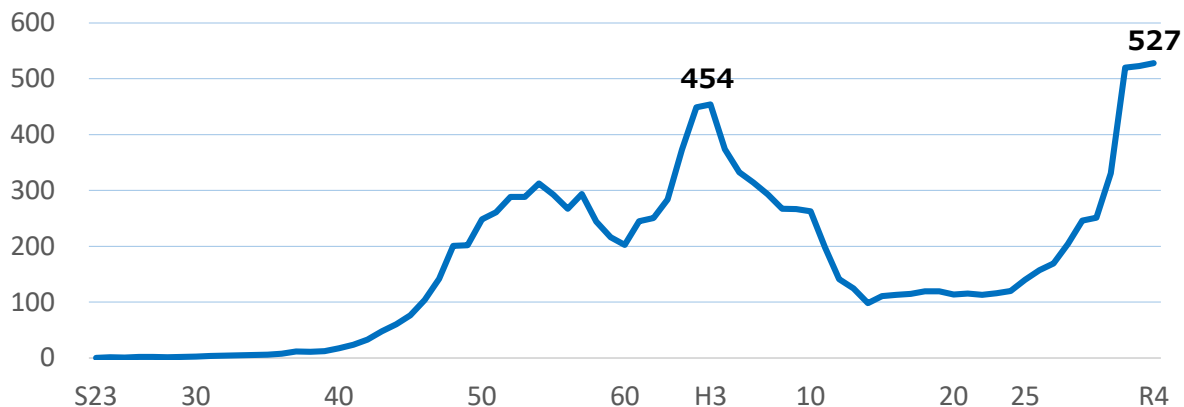
年度	開催日数	入場人員（人）	競走回数	1日当たり競走回数	出走延べ頭数（頭）			年間実出走頭数（頭）			
					年間合計	1日平均	1R当たり	総数（うち交流）			
								2歳	3歳	4歳以上	
H23	80	348,128	914	11.4	8,787	110	9.6	1,330(112)	525	384	421
H24	80	299,564	933	11.7	9,433	118	10.1	1,379(104)	521	404	454
H25	79	271,865	891	11.3	8,777	110	9.9	1,244(81)	494	321	429
H26	80	280,187	910	11.4	8,777	110	9.6	1,234(72)	514	327	393
H27	80	279,982	905	11.3	8,689	109	9.6	1,201(74)	482	333	386
H28	80	267,539	888	11.1	8,063	101	9.1	1,128(57)	451	323	354
H29	80	265,978	900	11.3	8,175	102	9.1	1,130(59)	424	325	381
H30	76	277,126	873	11.5	8,231	108	9.4	1,226(69)	438	372	416
R1	80	301,155	952	11.9	9,275	116	9.7	1,327(63)	499	381	447
R2	82	185,120	954	11.6	8,976	109	9.4	1,354(56)	514	425	415
R3	82	260,937	973	11.8	9,393	115	9.7	1,437(74)	510	462	465
R4	85	304,031	982	11.6	9,147	108	9.3	1,353(68)	515	423	415

資料（一社）北海道軽種馬振興公社「競馬成績」

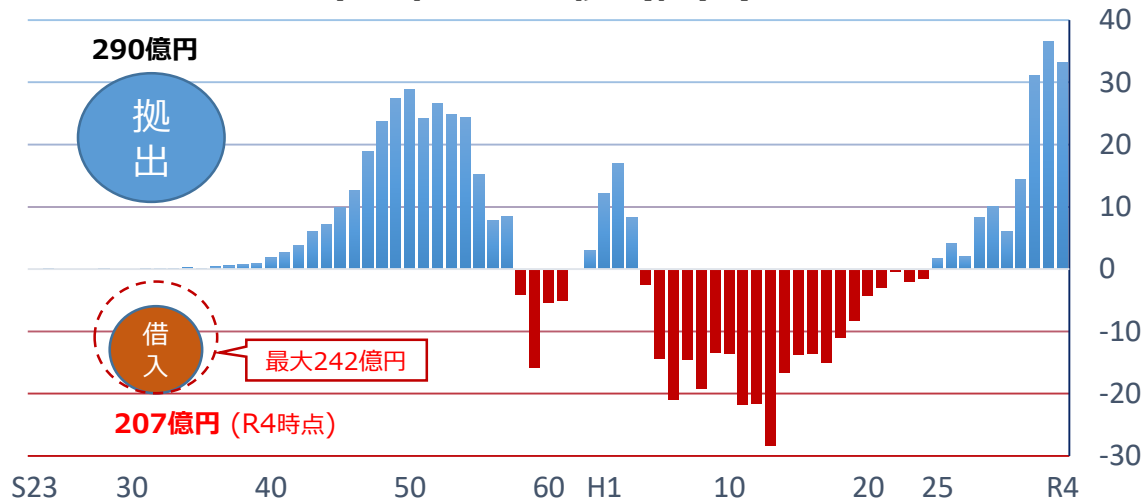
4 収支の推移など

ホッカイドウ競馬は、これまでの発売により**益金約290億円**余りを北海道の一般会計に繰り出してきました。平成3年度には**454億円**と過去最高の発売額となりましたが、平成4年度からはレジャーの多様化などの影響もあり赤字決算が続きました。北海道では、こうした赤字体質からの脱却を図るため、平成20年以降、様々な改革を進めてきた結果、平成25年度に22年ぶりで**単年度収支が黒字化**し、それ以降は発売額が上向き、令和4年度にはコロナ禍による巣ごもり需要も後押しし、過去最高の**527.7億円**を記録しました。なお、近年の発売額は、道内発売が減少する一方、インターネット発売が9割を占めています。

発売金額の推移（億円）



単年度収支の推移（億円）

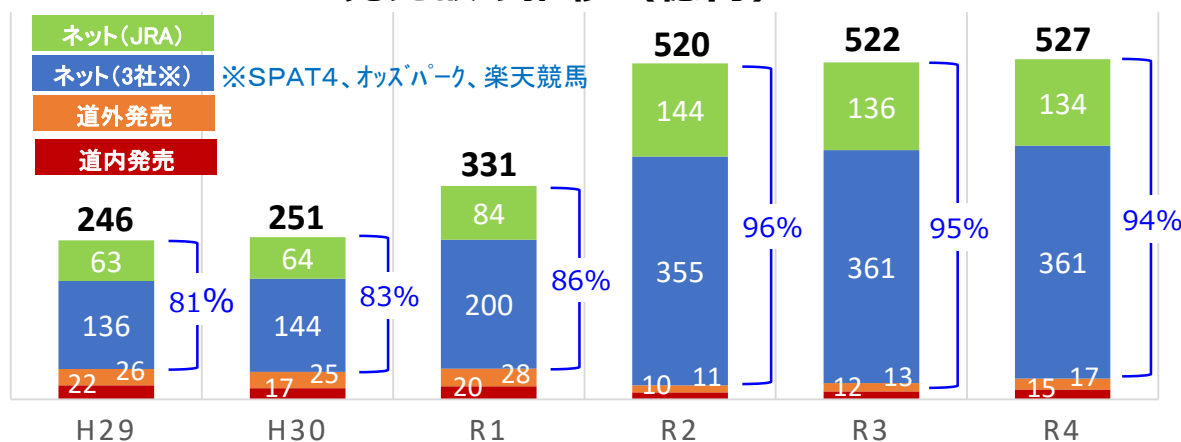


発売成績等

（単位：百万円）

年度	開催日数	入場者数 (千人)	発売額（道営）		単年度収支
			金額	前年比（%）	
H3	103	1,174	45,408	101.2	+820
H4	106	1,031	37,395	82.4	▲310
H13	93	537	12,428	88.1	▲2,843
H20	82	441	11,391	95.6	▲430
H21	81	404	11,545	101.4	▲298
H25	79	272	14,017	116.8	+178
R1	80	301	33,082	131.6	+1,434
R2	82	185	52,044	157.3	+3,106
R3	82	261	52,299	100.5	+3,658
R4	85	304	52,779	100.9	+3,318

発売額の推移（億円）



5 門別競馬場・レースコース

ホッカイドウ競馬は、日本一の馬産地・日高にある門別競馬場を本拠地に、毎年**4月中旬**から**11月中旬**まで、毎週**火・水・木**を基本に80日程度開催しています。ナイターレースの愛称「**グランシャリオ**」は、フランス語で北の夜空の道標となる北斗七星を意味するとともに、日高管内を構成する7つの町も表しています。

平成27年度に内回りコースを新設。
1,500mと1,600m（1マイル）のレースが可能になりました。
平成28年度から内回りコースもナイター化を実施。



平成24年に門別競馬場で全長900mの屋内調教用坂路が完成し、共用を開始しました。これにより雪国・北海道でも、一年を通じて同じ環境で調教が行えるだけでなく、馬の競走能力の向上が図られ、才能を開花させる軽種馬も多くなっています。

令和2年度にはスタンドを一部増築し、3階建てとしました。また、とねっ広場にキャッシュレス投票専用の「とねっ라운ジ」を新設しました。



レースコース（ナイター完備）

コース	【外回りコース】右回り、1周1,600m（フラット） 【内回りコース】右回り、1周1,376m（フラット）
距離	1,000 1,200 1,500 1,600 1,700 1,800 2,000m
スタンド	収容人員500名（座席数144）、発売窓口15台、払戻窓口3台
ポラリスドーム	収容人員800名（座席数112）、発売窓口6台、払戻窓口2台、JBCスタンド



- 所在地 沙流郡日高町富川駒丘76-1
- 駐車場/無料1,000台
- 電話 01456-2-4110
- 交通

- ・路線バス：札幌駅前ターミナルから門別競馬場前まで高速バス乗車約1時間50分
- ・札幌から車で約1時間10分～1時間30分
- ・千歳から車で約50分～1時間（いずれも道央道～日高道経由で「鶴川IC」または「日高富川IC」下車）

6 門別競馬場関連施設

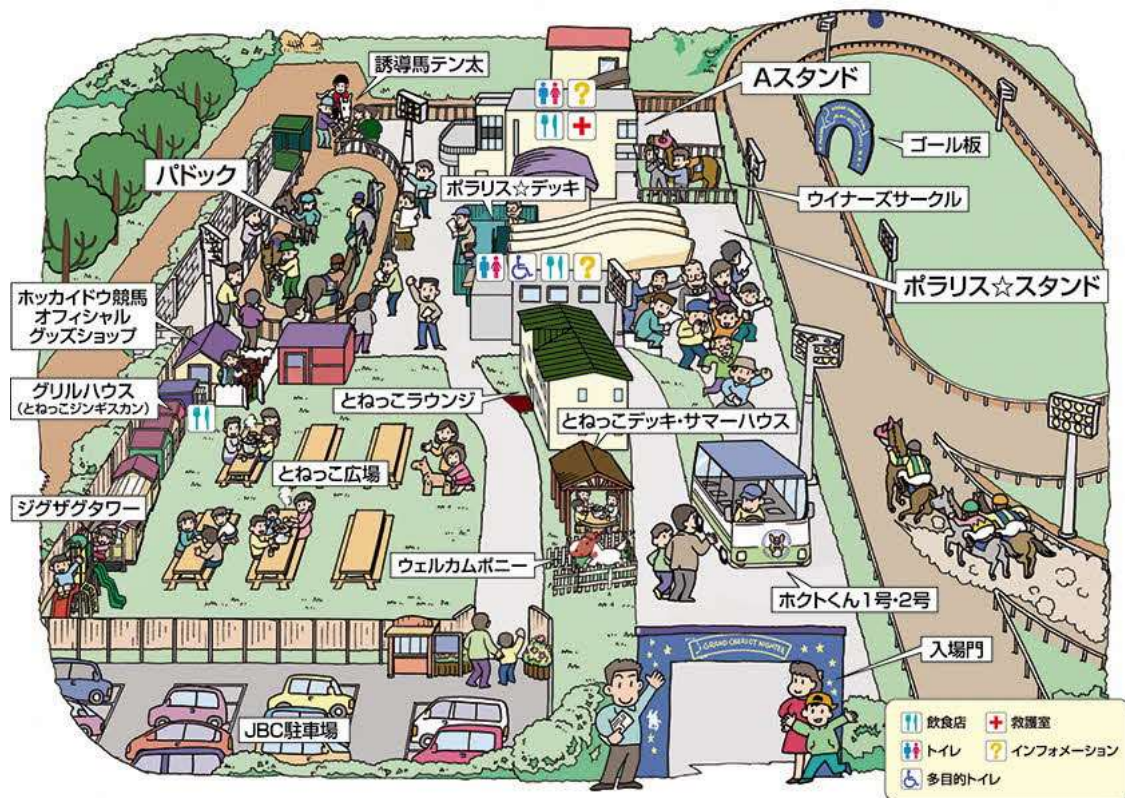
門別競馬場では、名物のバケツジンギスカンや地元の名店「いずみ食堂」のそば、本格カレーなど地元のグルメを堪能できます。とねっこ広場の遊具はお子様も楽しみ、場内は艶やかな花々が彩りを添えています。

■ パドック、広場など

パドック	スタンドのすぐ裏手で馬の状態や騎手の表情を間近でチェック
とねっこラウンジ	木の温もりを感じる雰囲気のカジュアル投票専用ラウンジ
とねっこ広場	空や星空のもと、芝生の広場で遊んだり、競馬場グルメを満喫
グリルハウス	落ち着いた個室でとねっこジンギスカンを食べられます（要予約）
サマーハウス	4コーナーから直線の攻防を見下ろしながら食事を楽しめます

■ 競馬場グルメ

とねっこジンギスカン	バケツの上に鍋をのせてジンギスカンを焼きます
いずみ食堂	地元日高町名物の手打ちそばがここで味わえます
ルビニフードカフェ	本格カレー・アジア料理などを提供
勝馬屋（かちうまや）	定番のお食事メニューやアルコール、おつまみも豊富
ホッカイドウ競馬オフィシャルグッズショップ	ジョッキーの勝負服柄のグッズなど、ここだけの限定品を販売



7 発売体制

全道15か所に展開している場外発売所「A i b a（あいば）」では、ホッカイドウ競馬の勝馬投票券のほか、J R Aや他の地方競馬の勝馬投票券も発売しています。

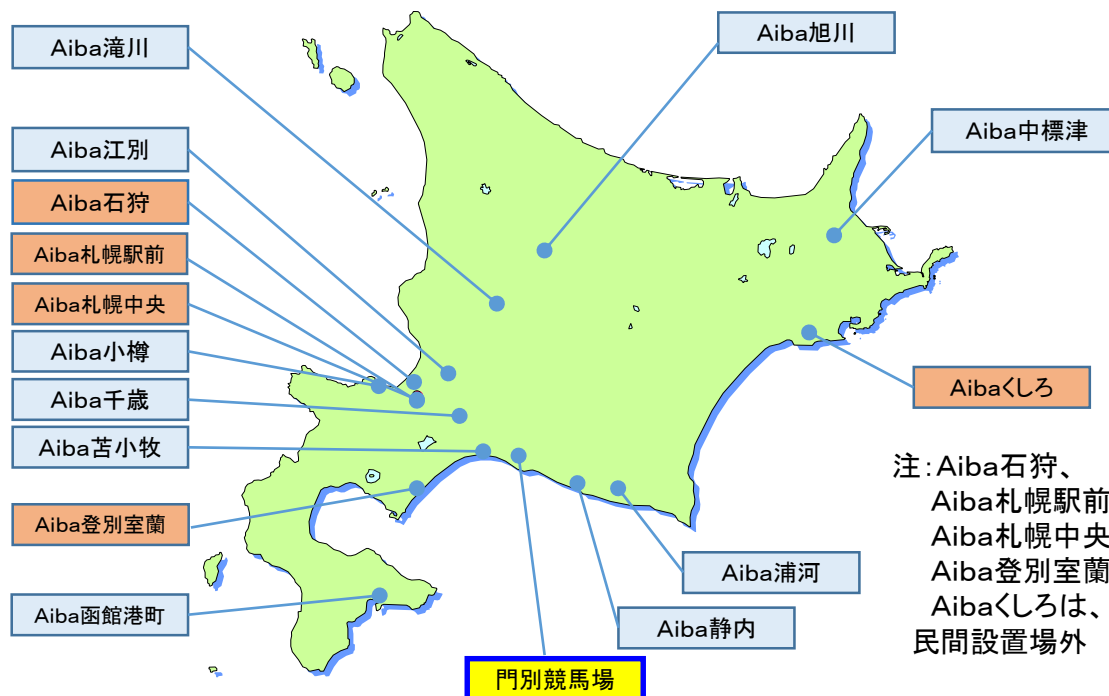
■ 場外発売所（A i b a）

① A i b a 函館港町	函館市港町3丁目17
② A i b a 登別室蘭	登別市若草町4丁目23
③ A i b a 苫小牧	苫小牧市木場町1丁目6-1 MEGAドン・ホーテ3F
④ A i b a 静内	日高郡新ひだか町静内木場町2-1-5
⑤ A i b a 浦河	浦河郡浦河町大通3丁目
⑥ A i b a 千歳	千歳市幸町3丁目3-2
⑦ A i b a 札幌駅前	札幌市中央区北4条西2丁目1
⑧ A i b a 札幌中央	札幌市中央区南6条1丁目1-1
⑨ A i b a 石狩	石狩市新港南2丁目729
⑩ A i b a 小樽	小樽市築港11-5ウイングベイ小樽内
⑪ A i b a 江別	江別市野幌町68
⑫ A i b a 滝川	滝川市西町5丁目1-1
⑬ A i b a 旭川	旭川市豊岡3条2丁目アモールショッピングセンター2F
⑭ A i b a 釧路	釧路郡釧路町桂木3丁目1
⑮ A i b a 中標津	標津郡中標津町東31丁目1-5

注1：上記の他、門別競馬場、ばんえい場外発売所（帯広競馬場、ミントスポット北見、アプスポット網走、ハロンズ名寄、ハロンズ岩見沢）でも発売

注2：「A i b a」とは、ホッカイドウ競馬場外発売所の愛称。「愛馬」に由来。

ホッカイドウ競馬場外発売所設置図



注：Aiba石狩、Aiba札幌駅前、Aiba札幌中央、Aiba登別室蘭、Aiba釧路は、民間設置場外



場外発売所「A i b a」では、J R Aの勝馬投票券の発売・払戻を行っています。J R Aの勝馬投票券の発売・払戻を行う地方競馬施設を「J - P L A C E」と呼んでいます。

■ インターネット発売

4つのインターネット発売サービスで、インターネット発売を展開。



(注)
 ・「J R Aネット投票」とは、J R A（日本中央競馬会）のインターネット投票サイト
 ・「S P A T 4」とは、南関東4競馬場が共同運営する電話・インターネット投票サイト
 ・「楽天競馬」とは、楽天(株)の子会社である競馬モール(株)が運営する競馬インターネット投票サイト
 ・「Odds Park」とは、ソフトバンク・プレイヤーズの子会社であるオッズ・パーク(株)が運営する公営競技のインターネット投票サイト

8 情報発信

公式ウェブサイト

出走表やオッズなどのレースガイド、騎手の成績や能力検査の映像をはじめ、門別競馬場ガイドや各種イベント情報を掲載。

<http://www.hokkaidokeiba.net/>



【YouTube】ホッカイドウ競馬情報局

2歳馬を中心とした坂路調教映像、騎手・調教師のインタビュー動画、門別競馬場のグルメ情報などを配信。

<https://www.youtube.com/@hokkaidokeiba/featured>



【YouTube】ホッカイドウ競馬LIVE「なまちゃき」

毎週木曜日を中心に、週替わりの出演陣が視聴者の皆様と一緒にレース中継を見ながら、ホッカイドウ競馬の楽しさに迫っていく番組「なまちゃき」を生配信。なまちゃきでは、新人調教師の騎手の紹介、「すぱっと！POGドラフト会議」など、ファンの皆様楽しんでいただくための各種企画番組も随時配信。そのほかホッカイドウ競馬の全レースのライブ配信や能力検査のライブ中継などリアルタイムで情報を発信。

<https://www.youtube.com/@live2820/featured>

